

ぱんしん

特集

”足元“から
暮らしを支える

「加古川靴下」

地場産業としての
個性をカタチに

2023

9

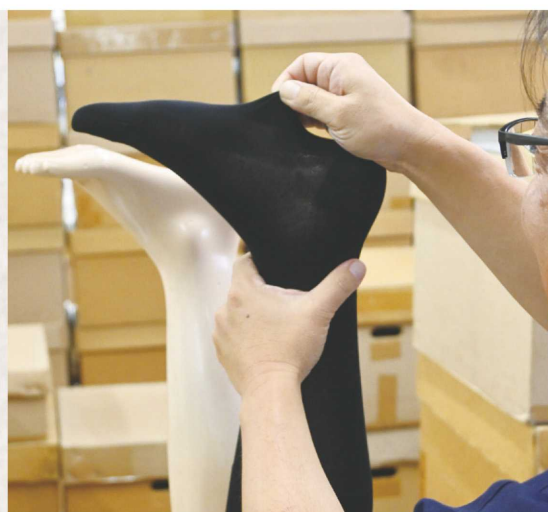
No.776

“足元”から暮らしを支える 「加古川靴下」

地場産業としての個性をカタチに

一台の編機から始まった
「加古川靴下」

加古川を代表する地場産業「加古川靴下」の始まりは1886（明治19）年。現在の加古川市志方町の住人が、中国・上海から手廻しの靴下編機を持ち帰り、靴下の製造を始めたことがきっかけと言われています。加古川周辺地域は古くから「播州の三白（米、塩、木綿）」の栽培が盛んで、農家が副業として靴下づくりを手がけるようになったことで産業としての基盤ができ、全盛期は300軒以上の工場が建ち並ぶ



までになりました。現在、兵庫県は奈良県に次いで靴下の生産量全国2位を誇り、県内で生産される靴下の約半分が加古川市内で製造されています。

緻密な靴下づくりに宿る職人魂

「毎日何気なく身に着ける靴下。気付けばいつもお気に入りの靴下を手にとっていませんか？」そう投げかけるのは、加古川市にある創業100年を超える靴下メーカー「田中繊維」代表の田中社長。毎朝の日課は、1時間以上かけて行う商品のフィッティング



作業。ミリ単位で検品し、平均的な足の形やサイズにぴったりフィットするように、長年の感覚を頼りに微調整を加えています。

手間暇を減らし大量生産することで単価を抑えた海外製品が出回る中、“世界一の品質”を指す「加古川靴下」。「田中繊維」では、針上げ針下げの数や横伸びを足のカーブに沿って細かく調整しながら、細番手の糸を200本以上の針数で緻密に編み上げていく「ハイゲージソックス」の製造に特に力を入れています。生地組織細さや風合いの良さに加え、上品さや美しさが表現された靴下として選ばれています。

毎日に安心と遊び心を

「加古川靴下」の特徴を尋ねると「実は各社の共通した特徴というのはいんです。だからこそ地場産業としての認知がまだまだ低く、加古川靴下のブランド化が一つの課題です」と田中社長。地元ゆかりのあるデザインを取り入れ、加古川ならではの靴下づくりに取り組んでいます。

「田中繊維」の新たなトレンドマークとなっているのが、創業1



近年までリブ編みのワンポイントソックスが主流でしたが、コンピュータの進化により、絵画のような大柄のデザインも可能になりました。



- 1 大正初期には自動編み機が普及し、生産規模が向上。現代ではコンピュータにデザインデータを設定し、4分ほどで筒状に編まれた靴下(片足)が完成します。
- 2 筒状に編まれた靴下のつま先上部を縫製する「先縫い」は、履き心地に直結する重要な工程。ニットの1目1目を拾っていくリンキング作業は、一つの編みこぼれも許されず、熟練の技が光ります。

00周年を記念して誕生したオリジナルブランド「TANAKA SOKKEN」。播磨富士の愛称で加古川市民から親しまれている「高御位山(たかみくらやま)」と、その上空を舞うグライダーをモチーフにした靴下です。右足はグライダー、左足は「高御位山」と、左右でデザインと刺繍の位置が異なり遊び心満載。ボディカラーは全14色展開で、靴下ごとにグライダーの翼の色が異なるハイセンスなデザインが目まぐるしく変わります。デザインのモデルになっ

たのは、加古川市出身のパイロット・渡辺信二さん。「田中繊維」が創業した1921(大正10)年に、渡辺さんが「高御位山」を飛び立ち、関西初とされるグライダー滑空に成功した歴史を元に制作されました。

現在、「兵庫県靴下工業組合」に所属する50社のうち、36社が加古川市に拠点を置き、日本の靴下産業を支えています。それぞれの企業が靴下に個性を吹き込み、「加古川靴下」の歴史を守り続けて130年。丁寧な手仕事で私たちの暮らしを足元から支え、安心感と遊び心あふれる靴下で日常に彩りを添えてくれます。

お話を聞いたのは



かこがわ工房 Kips(キップス)

兵庫県加古川市加古川町篠原町21-8
(カピル21専門店街)
10:00~18:00
※カピル21の営業日に準ずる

兵庫県靴下工業組合直営のアンテナショップ。県内の30社近くのメーカーの靴下を取りそろえ、約5000足を並べます。全7色展開のKipsオリジナルソックス『くつしたくん』は、最高級の綿とストレッチの効く編み糸を使用し、さらっとした履き心地が人気の商品です。



田中繊維株式会社
代表取締役
田中 一成さん



兵庫県靴下工業組合
専務理事・事務局長
原 邦仁さん

花と緑

季節の移ろいを感じる、四季折々の花と緑や観賞スポットをご紹介します。散策を楽しむもよし、その美しさを写真に収めるもよし。鮮やかな色彩と心安らく香りを楽しんでください。

千寿菊

マリーゴールド

©淡路島国営明石海峡公園

オレンジ色や黄色のかわいらしい花を咲かせ、太陽のように燦々(さんさん)と輝くマリーゴールド。こじんもりとした丸みのあるビジュアルが一般的ですが、品種によって草丈の長さや花びらの大きさ、色味などが異なり、近年ではバイカラーの品種も人気を集めています。

初夏から秋にかけて長い期間楽しめる一年草が主で、ガーデニングの定番花としても人気のマリーゴールド。土質を選ばず、耐暑性も高いため、種からでも比較的簡単に育てられるそうです。花畑を見に行くもよし、気に入ったら自宅で栽培して、その元気な姿に癒やされてはいかがでしょうか。

スポット情報

01 淡路島国営明石海峡公園



● 開花時期 9月上旬～11月中旬

5品種、4,200株ものマリーゴールドが咲き誇る「移ろいの庭」。花の形に植栽された姿がなんとも愛らしく、心が和みます。

📍 兵庫県淡路市夢舞台8-10 ☎ 0799-72-2000

🕒 9:30～17:00(9月・10月)
9:30～16:00(11月※入場は閉園1時間前まで。)

※上記以外の期間は営業時間が異なります。公式HPでご確認ください

¥ 中学生以下無料、15歳以上450円、65歳以上210円

02 ハリマ化成 加古川製造所



● 開花時期 4月～11月
(見頃は6月～7月、10月～11月)

約1,900平方メートルもの敷地に植わる花々。ハロウィンの時期には飾り付けやライトアップなども施され、一層賑やかな雰囲気。

📍 兵庫県加古川市野口町水足671-4

※「ハリマ化成 加古川製造所」の北側、歩道沿いに花畑があります。無料駐車場あり。

🕒 終日観賞可 ¥ 無料

☎ 079-422-3301

※天候によって開花状況に変動があります。



お金のはなし

お金と生活を「見える化」する

vol.5



出発点〜今後の人生を描いてみる

まず、2つのことを、考えてみてください。

- ① いま、人生のどの時点にいるか？
今後の人生をどのようにしたいか？
- ② いま、お金はどれくらいあるか？
今後の見通しはどうか？

今後の人生を描いてみることに、「お金と生活の知恵」の第一歩です。今後の人生の方向を描くことは、自分にしかできません。また、人生とお金の問題は切り離せません。

今後の人生についてよく考えてみることに、お金の問題とも向き合うことが、より良い方向（より安心できる生活など）に向かう出発点となります。



ライフプランとお金を結びつける

次に、もう一歩、具体的に考えてみましょう。

- ① 今後の人生や生活に関する希望を書き出してみる。希望を実現するために、どの程度のお金が必要か、考えてみる。

例：老後も夫婦で趣味や旅行を楽しみ、月〇万円くらいの支出を続けたい。

【参考】当委員会の「生活設計診断」(コラム1)には、老後の生活費の「参考値」として、高齢者の夫婦、単身者の生活費を掲載しています。また、予想がつかない方のため、便宜的に「ゆとりある生活水準」を年間400万円程度、「普通の生活水準」を年間330万円程度、「質素な生活水準」を年間260万円程度、としています。

コラム1 「生活設計診断」※を活用ください

- ② お金に関する現在の状況を確認する(収入と支出、資産とローン)。また、今後について見通してみる。

例：いま資産が〇万円ある。給与や年金は、今後、〇万円程度もらえると思う。
例：年金と資産の取りくずしで、年間〇万円の支出を、〇歳まで続けられそう。
【参考】年金をまだ受給していない方は、「ねんきん定期便」等で受給額を確認しましょう。

- ③ 上の2つを考えあわせ、今後の生活とお金について、「課題」を発見する。

金額は概算で十分です。大まかでも、把握すること(「見える化」すること)に意義があります。

見えてくる「課題」

「課題」を発見したら、書き出してみましょう(「見える化」)。計画や行動に結びつけやすくなります。以下のような課題が考えられます。

- 課題の例
 - お金が足りなくなりそう。
 - 今後の生活や支出を見直す必要がある。
 - お金を増やしたい。運用のノウハウを知りたい。
 - だまされないようにしたい。
 - 次世代に貢献したい。

次号ではこのような課題に向き合うときに、ヒントとなる知恵を紹介します。

例えば、お金が足りなくなりそうな場合、今後の生活や支出を見直しましょう。その手法を紹介します。

ばんしんからのお知らせ

「業種別講演会」を開催

当金庫は、取引先への経営支援の一環として「業種別講演会」を開催しています。

当金庫本店において、6月1日(木)「飲食業向け講演会」、6月15日(木)「医療業向け講演会」、神戸本部において、7月6日(木)「遊技業向け講演会」を開催し、多くのお客さまにご参加いただきました。

今後も業種別講演会を通じて、業界特有の最新動向や経営戦略等の情報を提供してまいります。



「新時代経営研究会」を開催

当金庫では、経済情勢等の最新の情報提供の場として、取引先の皆さまをご招待し「ばんしん新時代経営研究会」を開催しています。

今年度は、7月13日(木)当金庫本店8階大会議室において、東京大学名誉教授の伊藤 元重氏をお招きし、「日本経済の展望」をテーマに講演していただきました。



「ばんしん経営塾(経営研究会)」を開催

7月19日(水)、当金庫本店8階大会議室において、お取引先の経営者の皆さまを対象とした2023年度第1回目「ばんしん経営塾(経営研究会)」を開催しました。

今回は、ブライツサイド株式会社代表取締役・コンサルタント・産業能率大学兼任講師 武田 斉紀氏による「経営哲学」に関する講義と、BRICs経済研究所代表 経済評論家 門倉 貴史氏を迎え、「経済情勢」に関する講義を行いました。

また、懇親会も行い、塾生同士の交流やビジネス情報の交換等、充実した時間を過ごしていただきました。



ASハリマアルビオン主催 「“ばんしん”夏休み スポーツアカデミー」を開催

当金庫は、女子サッカーチームASハリマアルビオン(なでしこ1部リーグ所属)と協力し、7月25日(火)・27日(木)の2日間、姫路大学体育館において、幼稚園児・小学生を対象とした「“ばんしん”夏休みスポーツアカデミー」を開催しました。当日は、ちびっ子体操・ボールあそび・サッカー教室の3種目を楽しみました。

本スポーツアカデミーでは、ASハリマアルビオンに所属し“ばんしん”の職員でもある正野可菜子選手もコーチを務め、子どもたちがいきいきとボールを追いかける姿に元気をもらいながら、一緒に楽しい時間を過ごしました。



今秋のばんしん旅行は「一生に一度はお伊勢参り」と歌われた“日本人の心のふるさと”「伊勢神宮」と賢島の名旅館「宝生苑」での寛ぎの時をどうぞ



夫婦岩



伊勢神宮・内宮



伊勢神宮・外宮

ばんしん旅行 6つのポイント

- ① 古式のつとに則ったお伊勢参りの旅行です
- ② 伊勢木綿の御朱印帳つくりを体験!
- ③ 内宮拝観後はおかげ横丁でたっぷり散策を!
- ④ お泊りは英虞湾を望む温泉旅館「賢島宝生苑」
- ⑤ ご夕食時は酒・ビール・焼酎・ウーロン茶飲み放題!
- ⑥ お足元がラクな椅子席での宴会!



伊勢木綿御朱印帳
(イメージ)

伊勢志摩温泉 賢島宝生苑 (燦陽棟)

お部屋から英虞湾が望める名旅館。庭園露天風呂や展望大浴場の温泉や、夕食も豊かな海の幸をはじめとする贅を尽くした会席料理をお楽しみください。



～始まりの街「伊勢二見」から巡る～古式に習う伊勢詣と伊勢木綿御朱印帳つくり体験!

「賢島宝生苑」宿泊2日間

旅行期間	旅行代金(大人おひとり様)
【1班】10/11(水) ▶ 10/12(木)	※おひとり様だけのお申し込みはお受けできません
【2班】10/23(月) ▶ 10/24(火)	4～5名様1室ご利用 42,000円
【3班】10/30(月) ▶ 10/31(火)	3名様1室ご利用 44,000円
【4班】10/31(火) ▶ 11/ 1 (水)	2名様1室ご利用 45,000円
【5班】11/13(月) ▶ 11/14(火)	■募集人員/各班80名様(最少催行人員各班60名様)
【6班】11/15(水) ▶ 11/16(木)	■食事条件/朝食1回・昼食2回・夕食1回
【7班】11/27(月) ▶ 11/28(火)	※昼食時の飲料代はお客様負担となります
【8班】11/30(木) ▶ 12/ 1 (金)	■宿泊/賢島・賢島宝生苑・燦陽棟(和室利用)
お申込み締切日 9月29日(金) 各旅行期間共通	■添乗員/全行程、添乗員が同行いたします

旅行行程(＝バス・・・徒歩)
1日目 大阪市・兵庫県内各地 — 伊勢夫婦岩めもと横丁にて昼食と御朱印帳つくり体験……二見興玉神社・夫婦岩拝観 — 伊勢神宮外宮拝観 — 賢島宝生苑[泊] お部屋から英虞湾の絶景が望める燦陽棟にお泊りいただきます
2日目 ホテル — 伊勢神宮内宮拝観…おかげ横丁にて昼食と散策 — 大阪市内・兵庫県内各地

【企画協力】
ばんしん旅行友の会事務局
TEL.079-280-3436

【旅行企画・実施】 【お申し込み・お問い合わせは】
株式会社 JTB姫路支店 TEL.079-289-2120
〒670-0962 姫路市南駅前町100 パラシオ2 FAX.079-281-5545

ボンド保証会員 旅行業公正取引協議会会員
営業日・営業時間：平日9:30～17:30/定休日：土・日・祝
総合旅行業務取扱管理者：堀内 健次 担当：尾崎 豪
観光庁長官登録旅行業第64号

ひろがる夢とたしかな未来



●詳しい旅行条件を記載した書面をお渡しいたしますのでご確認の上お申込みください

播州信用金庫 文化講演会

いちごいちえ らくご
-講演テーマ- 「一期一会」+ 落語

落語家 らくごか・さんゆうていこうらく

講師

三遊亭 好楽

プロフィール

正蔵の「鯉沢」を聞いて落語の世界に魅せられ入門を決意。古典落語に情熱を傾ける。得意ネタは「抜け雀」、「子別れ」、「兵庫船」、「錦の袈裟」、「蛇含草」といった珍しい噺にも積極的にチャレンジし落語ファンを喜ばせている。TVやCMにも活躍しているが、講演にも力を入れ、高校生対象の講演活動で全国を回る。ゲートボールのテレビ番組を担当したことがあり、ゲートボールファンにも人気。また、ガン予防をテーマにした落語を発表したりNTT「てれふおん落語」で時事小噺を行ったりと情熱的に活動。講演会では得意の話術で場内を湧かせ「生きる喜び」を伝えている。

日時

2023年 10月24日(火)
15:00~16:30 (開場 14:00)

会場

神戸国際会館 こくさいホール
(神戸市中央区御幸通8丁目1番6号)

定員

1,600名

入場無料

■主催:播州信用金庫

■共催:近畿地区しんきん経営者協議会

■お問い合わせ先:播州信用金庫 本支店窓口 または 経営企画部[TEL.079-280-3398]

ひろがる夢とたしかな未来



播州信用金庫

<https://www.shinkin.co.jp/banshin/>
発行/播州信用金庫 姫路市南駅前町110番地

2023年9月5日発行(毎月1回5日発行)
電話:079-280-3398 編集:経営企画部